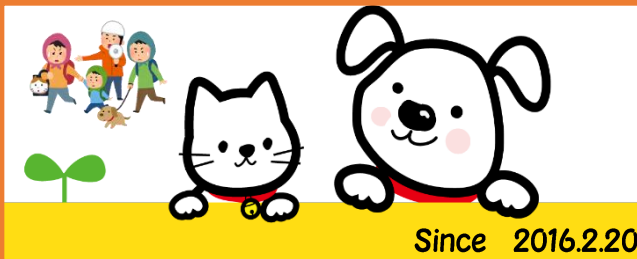


ペットとぼうさい情報 No2



ホームページアドレス QR コードです↓



<http://www.geocities.jp/pettobousai2016/>

今日この頃

東日本大震災で、ペットを巡って避難所で様々なトラブルが発生したことから、環境省は、災害が起こった時に飼い主はペットと同行避難することを基本として、飼い主をサポートするボランティアの育成や登録を自治体に勧めています。今回は、静岡県での取り組みについて紹介します。

静岡県では、昨年度から、県内3市町（長泉町、藤枝市、磐田市）をモデル市町とし、「災害時動物愛護ボランティアリーダー育成事業」を始めました。ボランティアリーダーとは「動物の救護・保護等の対応の他に、避難所等でのボランティアコーディネーターとして、ペットスペース運営のサポートや飼育管理指導、救援活動に関わる人と活動との調整等、多岐にわたり中心的な役割を担う」人であり、育成事業の対象者は、動物愛護推進員、市町推薦ボランティア、市町動物愛護・危機管理担当者等です。全3回の講座では、避難所運営の仕組みとマナー、災害時の愛玩動物対策、ペット同行避難訓練（リーダー候補者によるポイントチェック、外部講師による助言、被災動物受付・収容・管理・返還、マイクロチップ読取り体験、ペット防災用具の展示 等）などを実施しました。

「3市町に90ヶ所ある避難所に、それぞれ一人いるのが理想。」としていますが、現在は16人がリーダーとして認定されているのみであるため、カリキュラムを短縮するなどして、登録を増やす工夫をしているということです。

栗平白鳥自治会の避難所である白鳥中学校では、ペット同行避難は認められていませんが、麻生区の避難所全25ヶ所中、現在ペット同行避難を認めている避難所は13ヶ所となっています。当サークルでは、29年度の活動として、麻生区や川崎市でのペットに関する防災の取り組みについて現状把握をしていく予定です。

災害時、家族の一員であるペットはどうなるの？大地震で家が壊れたら、一緒に避難所に逃げられるのかしら？

こんな疑問を持った仲間が集まり、イザ！と言う時にペットと同行避難ができるように、ペットと飼い主さんの日常の備えの啓発活動や、災害時のペット同行避難所の設置を目指し、栗平・白鳥地域を拠点に活動をしているボランティアサークルです。（現在 メンバー7名）

次回のミーティングは 3月18日(土) 午後3時から 栗平白鳥自治会館にて